

令和 7 年度

決 算 報 告 書

第 22 期事業年度

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

国立大学法人 高知大学

令和 7 年度 決算報告書

国立大学法人高知大学
(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収 入				
運営費交付金	9,878	10,489	611	(注 1)
うち補正予算による追加	－	391	391	(注 2)
施設整備費補助金	1,256	1,129	△ 126	(注 3)
補助金等収入	1,032	2,161	1,129	(注 4)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	15	15	－	
自己収入	25,200	25,873	674	
授業料、入学料及び検定料収入	2,969	2,593	△ 376	(注 5)
附属病院収入	21,902	22,685	784	(注 6)
雑収入	330	595	266	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,748	2,128	380	(注 7)
引当金取崩	226	271	46	
長期借入金収入	1,643	311	△ 1,332	(注 8)
目的積立金取崩	65	261	196	
引当特定資産取崩	32	30	△ 2	
計	41,095	42,670	1,575	
支 出				
業 務 費	34,639	35,486	847	
教育研究経費	12,731	13,237	506	
診療経費	21,908	22,249	341	(注 9)
施設整備費	2,914	1,456	△ 1,459	(注 10)
補助金等	774	1,434	660	(注 11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,748	1,995	246	(注 12)
長期借入金償還金	1,020	961	△ 59	
計	41,095	41,331	236	
収入－支出	－	1,339	1,339	

(注) 記載金額については、百万円未満を四捨五入して表示しています。

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった追加配分等が措置されたことにより、予算額に比して決算額が611百万円多額となっています。
- (注2) 補正予算として物価・人件費の上昇等を踏まえた国立大学の教育・研究基盤維持経費等が措置されたことから、予算額に比して決算額が391百万円多額となっています。
- (注3) 施設整備費補助金については、外来診療棟等改修事業が翌年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が126百万円少額となっています。
- (注4) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった事業等が措置されたことにより、予算額に比して決算額が1,129百万円多額となっています。なお、授業料等減免費交付金727百万円が含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注5) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料等減免の実施等により、予算額に比して決算額が376百万円少額となっています。
- (注6) 附属病院収入については、昨年度完成した新病棟の稼働で病床数が増加したこと及び救急患者を積極的に受け入れたことから、予算額に比して決算額が784百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった国（の各組織、特殊法人及び民間）からの受託研究の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が380百万円多額となっています。なお、前年度以前における繰越額を今年度に支出した37百万円を含めて計上しています。
- (注8) 長期借入金収入については、当初予定していた外来診療棟等改修事業が翌年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が1,332百万円少額となっています。
- (注9) 診療経費については、(注6)の理由によること、また物価高騰等の影響による材料費、保守費、委託費等の増加により、予算額に比して決算額が341百万円多額となっています。
- (注10) 施設整備費については、(注3)の理由により、予算額に比して決算額が1,459百万円少額となっています。
- (注11) 補助金等については、(注4)の理由により、予算額に比して決算額が660百万円多額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)の理由により、決算額が246百万円多額となっています。なお、前年度以前における繰越額を今年度に支出した37百万円を含めて計上しています。